

本庁地区社会福祉協議会

春爛漫 相模台公園の桜 →

花子さん(本庁地区内勤務)

お花見の隠れた名所、相模台公園の見事なソメイヨシノ満開!



↓ 紅葉の散歩道

秋の戸定ヶ丘歴史公園

遠藤 憲樹(小山町会)

秋も深まった戸定ヶ丘歴史公園の美しい紅葉に思わずシャッターを押しました。



掲載写真について

今年度に広報部会(事務局)に投稿された、会員の皆さまの『撮っておきの一枚』から、部会員の推し作品を掲載いたします。



会長挨拶

本庁地区社会福祉協議会 会長 伊能重憲

各種情報の氾濫する日々、令和6年度の幕を閉じようとしています。本庁地区社協の各種活動へのご理解とご協力に衷心より感謝申し上げます。

会食部会、研修部会、子育てサロン部会、健康増進部会、広報部会、サロンだんらん部会のボランティアの皆様のご誠心誠意のご尽力に敬意を表します。

音楽祭の小中学生の魂ゆさぶる演奏とご来場の千名余の方々に感謝あるのみです。

9月には本庁地区社協創設以来3度目の事務局移転(松戸市民会館2階)を余儀なくされました。

来年度は市民の明日のために、一層の実践力が求められています。ご支援切にお願い申し上げます。市民のあしたを祈りつつ。

《今号の内容》

- 会長挨拶 伊能重憲 1
- 地区社協活動あ・ら・かると 2
- 松戸市社会福祉協議会のお仕事その4 3
- 第9回ふれあい音楽祭 4
- 和がまちトピックス 5
- 事務局だより・活動日誌 6
- 松戸シン・今昔物語 7

ふれあい会食会



お正月おめでとうの聲がとびかう！

1月13日(月)、11時25分会場の中はすでに準備が始まっていた。設営スタッフが、テーブルセットのため忙しく動いていた。

本日のメニューは新年第一回とあって、お正月をテーマに8品の豪華なお弁当となった。

伊能会長の挨拶では「家庭では男性が雑煮を作るものと言われてきたので自らキッチン



食事後はスタッフも一緒に恒例のビンゴゲームが始まり、会場内には「リーチ」と元気な声が響き渡っていた。令和7年最初の会食会は和んだ空気の中、終わりとなった。

参加者…44名、配食…8名、社協来賓…3名、スタッフ…17名の会食会であった。

加津子…記/写真



地区社協活動 あ・ら・かると

子育てサロン

初雪舞うなか、楽しいクリスマス会

朝、初雪の舞った12月19日(木)、市民会館2階の和室で「ちびっこサロン」のクリスマス会受付が始まりました。

ハイハイの子が3人と少し年長の兄弟2人とそのママたちが集まったころには青空も現れ、お揃いのサンタ帽をかぶったスタッフたちの笑顔と、たくさんのおもちゃに迎えられて、会場内はわくわく



した雰囲気にも包まれました。

ちびっこたちは全くのマイペース。おもちゃにハイハイで突進する子、まずは様子をじっと観察している子、ママにしっかりとつかまってその場に馴れるチャンスを待っているらしい子、兄弟の2人はさすがに落ち着いておもちゃいじり。始めは少し緊張している感じでしたが徐々に会場全体がゆったりと安心して楽しんでる雰囲気となりました。

ママやスタッフの顔を時々見上げたり、ふとお友だちを意識するしぐさをしたり、ちびっこ2人が互いに視線が合ったりする様子は言葉を使えないちびっこたちの会話なのでしょう。

90分間疲れた様子もなく遊び通し、おみやげも貰って、お別れの準備、スタッフに見送られてクリスマス会が終了となりました。

子どもたちの成長を楽しみに見守り続けているスタッフの優しさとおたのしみ眼差し、頼もしさは頭の下がる思いでした。

中山…記/写真

第52回本庁地区市民運動会

青空に紅白の玉輝けり

11月3日(日)、第52回本庁地区市民運動会が、本庁地区会(地区内町会・自治会の集まり)と本庁地区社協の共催で、南部小学校校庭にて開催されました。

前夜からの大雨で開催が危ぶまれましたが、見事に快晴となり、競技場の水たまりも無く、コロナ前と同様に午前・午後の競技が行われました。



今回は競技者120名、スタッフ40名の計約160名の参加でした。種目は、グラウンドゴルフ、玉入れ、お玉DEボールリレー、ホールインワンゲーム等です。

本庁地区の住民の皆様と消防団松戸第五分団の方々も参加され、例年に無く大きな声援が飛んでいました。初めて参加した方も多く、来年在望です。

年に一度の「市民運動会」です。本庁地区の住民の相互の「ふれ合う場所」として大切に続けられることを願います。来年もまたお会いしましょう！

秋風…記/写真…事務局

後期講習会

マイナンバーと健康保険証

— 松戸市パートナー講座 —

令和6年11月30日(土)午後1時半から松戸市市民劇場第2.3会議室にて、松戸市パートナー講座「社会保障・税番号制度(マイナンバー)について」が開催され、松戸市職員3名の方よりお話があり、23名の方が聴講されました。

マイナンバーカードは社会保障、税、災害対策その他の事務手続きにおいて書類提出が不要となり、国民の利便性が



高められることが期待されますが、健康保険証との一体化(任意により、私達がマイナンバーカードで医療機関を利用するにあたり、知識を得ておくことが求められます。)

ご自身の健康保険証を確認して医療機関を利用する際の心構えを覚えて置きましょう。

① 現行の保険証は令和6年12月2日から新規発行はされませんが、現在お持ちの保険証は有効期限まで使用できます。

② マイナンバーカードの保険証未登録の方には「資格確認書」が発行され、これまでどおり保険診療を受けられます。

秋風…記

サロンだんらん

筋肉ストレッチ

と楽しい工作

11月19日(水)午後、市民会館201号室で「サロンだんらん」が開催され、真冬の様な寒さの中、8名の方とボランティアスタッフ4名が参加しました。

平井部会長の挨拶で始まり、最初に「高齢者いきいき安心センター」の村上さんの指導で椅子に座って出来る筋肉体操が始まりました。隙間時間を使って全身の筋肉をストレッチする方法です。とても簡単に気持ちの良い40分間でした。

その後、スタッフの鈴木さんのリードで、工作「マイメッセージカード」の制作が始まりました。「カラフルな色画用紙」と「綺麗なカード」「可愛いシール」が沢山用意され、4人のスタッフの手助けで、好きな色画用紙2枚のカードに思いおもいのメッセージを書き、空いている所に素敵なシールを貼り付けて完成です。完成したら、それぞれ作った作品の発表をしました。「体操」と「工作」で今日の楽しい「サロンだんらん」は終了となりました。

お菓子のお土産も用意されて皆さん笑顔で元気に家路につきました。

毎回この会の準備に奮闘されているスタッフの皆さんにも拍手を送りたいと思います。

石井…記/写真…小関



松戸市社会福祉協議会の仕事 その4

松戸市社会福祉協議会は乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に福祉に関するさまざまな事業を展開しています。「ほんちょう42号」に続き社協の仕事を紹介いたします。

「ファンドレイジング事業」が始まる

松戸市社会福祉協議会では、今年度から「ファンドレイジング事業」という新しい取り組みを始めました。ファンドレイジングは直訳すると活動のための資金調達を意味し、解決したい社会問題や理想的な社会の実現に向けて、地域の住民や企業の皆様と共感を得て、その解決への参加を促進し、社会をより良くするための手段で、市社協では「子ども貧困問題」をテーマに各種取り組みを行っています。

第弾として、昨年12月に「お家にサントガヤってくる」心に残るクリスマス会を子どもたちに「」を実施しました。寄付型のクラウドファンディングを用いて資金を集め、経済的な理由でクリスマスプレゼントを用意できない家庭の子ども達に、サントガヤまでプレゼントを届けるという内容です。このクラウドファンディングでは目標金額を無事達成し、51世帯112人の子ども達にプレゼントを届けることができました。

「子どもたちへのクリスマスプレゼントを届けたい」松戸市社会福祉協議会では、引き続き子ども貧困問題に取り組むためにも「さあえあいファンド」を立ち上げます。この「ファンド」は、寄付金等を財源に学用品やベビー用品の購入、体験の提供を行うことで、経済的な理由で悲しい思いをする子どもたちに寄り添います。ファンドの詳細は松戸市社会福祉協議会のホームページをご確認ください。

寂しい思いをする子どもたちにも少しでも寄り添うため、ご支援・ご協力をお願いいたします。



児童・生徒の素敵なフラスの音響く！ 本庁地区社協 ふれあい広場「ふれあい音楽祭」

12月14(土)、「第9回ふれあい音楽祭」(本庁地区社会福祉協議会主催)が開催されました。開会式には小玉典彦松戸市副市長、波田寿一松戸市教育長、松戸市立第一中学校校長 西川康弘、同第二中学校校長 吉野桂子、同中部小学校校長 齊藤一夫、同南部小学校校長 石井理恵子、同相模台小学校校長 保坂和志、松戸市社会福祉協議会会長 小川早苗の各氏を来賓に迎え(本郷谷健次松戸市長メッセージ代読)、伊能重憲本庁地区社協会長の挨拶で幕を開けました。

本庁地区社会福祉協議会 ふれあい広場 第9回 ふれあい音楽祭

今回も、第一中、第二中、中部小、南部小、相模台小の五校の吹奏楽部、合唱部、フラッグバトン部が練習の成果を披露。訪れた約900名を超える聴衆から励ましと感謝の気持ちのこもった大きな拍手が送られていました。

市民会館ホールロビーでは、福祉施設団体の「ビオラ工房」、「あるば」の団体や本庁地区松戸市健康推進員、本庁地域包括支援センターの皆さんのブースを設置。皆さんの製品・食品販売や活動のアピールを行いました。また、広報部会に寄せられた写真作品の展示、サロン「だんらん部会」の皆さんの作品も展示。多くの参加者が作品に見入っていました。



第二中



第一中



南部小



相模台小



開会式



司会のお二人(松戸第一中)
大西 麻友さん 宇田川 有里さん



中部小



子どもたちの 頑張る姿に感動!

コロナの影響で、いくつもの困難を乗り越えて、練習の成果を精一杯発揮する子ども達の頑張る姿と見事な演奏に感動しました。

ふれあい音楽祭も、だんだん地域に根ざして観客が増え、多くの聴衆から、感謝と励ましのこもった拍手が送られていました。



ロビーの様子

小関…記
写真班

本庁地区社会福祉協議会 Vol.97

事務局だより

第52回本庁地区市民運動会報告

11月3日(日)南部小学校校庭で本庁地区市民運動会が開催されました。雨でぬかるんでいた校庭はボランティアの奮闘で開催できる状態になり、スタッフも含め、約160名がグラウンド・ゴルフや玉入れなどに参加しました。

グラウンド・ゴルフの成績(敬称略)

- 男子優勝 越野剛(陣ヶ前)
準優勝 辻秀雄(松戸三丁目西)
3位 野木俊宏(平潟)
女子優勝 畑中晴美(松戸三丁目東)
準優勝 島山洋子(小山)
3位 飛山国子(平潟)
特別賞(米寿、喜寿) 9名

第42回松戸市福祉大会が開催されました

2月16日(日)松戸市民会館大ホールにて、地域福祉の増進に貢献し功労のあった方々の表彰式が開催され、本庁地区からも活動に対してボランティア等の方々が表彰されました。

ウォーキングフェスタ

健康増進部会では第20回ウォーキングフェスタを4月20日(日)に計画しています。詳細は2月下旬配布の町会・自治会の回覧、市社協HP

または本庁地区社会福祉協議会事務局へお問い合わせください。

開催日：令和7年4月20日(日)

対象：本庁地区在住の小学生以上の方

参加費：一人100円

令和7年度理事会・評議員会

開催日：令和7年5月10日(土)

場所：松戸市民会館201会議室

理事会：9時30分～10時15分

評議員会：10時30分～11時30分

ご寄付をありがとうございました

(敬称略)(有)ワイド/堀武敏、望月洋子(小山)、村中典代(五香)、匿名希望の方、収集ポストに投函や事務局までお届けいただいた方々。皆さまありがとうございます。

車いすをお貸ししています

無料で車いすの貸し出しをしています。短期間(1日～2週間)の使用にご活用ください。※台数に限りがございます。ご利用の際はご予約いただくことをお勧めいたします。

<広報部会>

令和6年度より、奥野和子さんがボランティアとして広報部会員に加わりました。納屋川岸地域で民生委員・児童委員も勤めておられます。

<事務局>

令和6年9月より、丑澤由紀子さん退職にともない後任として徳重かな子さんが事務局に着任しました。

Calendar table with columns for days of the month (3 to 18) and activities listed below each date.

松戸 しんじ・今昔物語

松戸宿・平潟河岸・

納屋河岸と来迎寺

今では人口50万都市となった松戸市。古くには首都東京と江戸川を挟んで、同じ葛飾郡の松戸村であったころ、松戸宿(現住所表記・松戸市松戸)と呼ばれたこの界限の昔を訪ねてみました。

《江戸時代の松戸宿》

松戸の町は徳川家康による江戸幕府開白後、人口も少なく根本村、小山村などに囲まれ「松戸村」と呼ばれていました。幕府による街道整備が進む中で松戸村に寺院が建立され始めるのは慶長14(1609)年ころのこと。本稿の舞台となる平潟地域にある来迎寺が松戸村七ヶ寺院(来迎寺、西蓮寺、善照寺、宝光院、松龍寺、慈眼寺、円慶寺)のひとつとして最初に建立されました。

元禄12(1699)年、天領(幕府の支配)となった江戸の町の発展を受けて、この町は水戸街道の宿場町として宝暦13(1763)年ころには「松戸宿」として栄えるようになりました。

当時、江戸川は北関東での豊かな農水産物を積んだ高瀬舟と呼ばれる運搬舟が往

青木源内邸横の道標



現在の来迎寺正面



六角灯籠型六地藏

来していた。干鯛などの産物を船に積み込み銚子から関宿(野田市)まで廻り、江戸川を下り松戸宿(平潟河岸、後に納屋河岸に移動)を経由して大消費地である江戸まで運ばれていました。

銚子から江戸までの道程の中継地として、現在の平潟付近が干潟もあり流れも緩く舟の停泊に都合がよく、舟乗り達の休息・宿泊施設としての旅籠も増え、これが平潟地域繁栄の基となりました。ここで宿泊する舟乗りや荷揚げ人足など働く人が増加すると同時に、旅籠では給仕など世話をする多くの女性も働くようになり、栄えるようになりました。

その後、享保16(1731)年、蛇行する江戸川を直線化する改修工事が行われ、河岸の役割は少し下流の納屋河岸へと移り、松戸宿とその周辺は繁栄していきました。

《来迎寺と平潟川岸から納屋川岸へ》

来迎寺は、小金宿にある東漸寺(浄土宗)の末寺として慶長14(1609)年に建立された。境内には松戸二十一カ所第十三番の大師堂や珍しい六角灯籠型六地藏が祀られており、同時に隣にある平潟神社も十誉茂山上人が来迎寺の開山にあわせて水神社を祀ったといわれており、この来迎寺と平潟神社が斜めに構える配置は珍しい配置とのことである。

江戸時代、幕府の天領だった現在の松戸

市エリア(小金牧など)は徳川家の馬の放牧地であり、中期以降の水戸街道の松戸宿は、陸路の鮮魚(なま)街道での物流も増加し、人足など多くの人が往来していたようです。近くの平潟河岸には十数軒の旅籠があり、水戸街道や江戸川から少し外れた場所にあったので、物流の拠点が納屋河岸(船問屋「青木源内商店」の隆盛など)に移ってからも、界限で最も繁華な場所になっていったようです。当地が遊郭として確立したのは明治維新後のことで、明治31(1898)年頃でした。なお、現在納屋河岸地域は「納屋川岸」と称されています。

昭和31(1956)年、「売春防止法」の成立により、平潟遊郭は終焉を迎え、建物は学生寮などに使われていたりしたそうですが、今では当時の建物が残っておらずその面影はありません。来迎寺や平潟神社、隣の根本村にある池田弁財天も当時の遊女達の信仰を集めたと言われています。来迎寺には当時の遊女たちを祀って建てた墓が今でも残っており往時を偲ぶことができます。

本欄起稿にあたり、松戸市ボランティアシテイガイドの方にお世話になりました。

取材：中山

参考資料／松戸商工会議所発行「ブリッジ」特集 松戸宿 松戸駅周辺商業協同組合発行「ぶらり歴史探訪 松戸宿まちあるきマップ」

訂正欄

ほんちよう42号(令和5年/2024年、9月15日発行)について。投稿欄の投稿者名などに誤りがありましたので、訂正をいたします。

◆(誤) 忽 ↓ (正) 夢忽

◆広報部員の一覧で、奥野和子様の氏名が 抜け落ちていました。以上、訂正しお詫び申し上げます。

— 編者呟口 —

先日、健康保険証の代わりに「医療費資格確認書」が届いた。従来の保険証とほとんど変わらない。唯一大きな違いは交付者が松戸市から千葉県の組織に変わったこと。▼政府はマイナナンバーカードと保険証との一体化を多くの国民の不安の声に目を瞑り、昨年12月押し切った。曰く「被保険者の病歴投薬歴が共有でき、重複治療や投薬を防ぐ。医療機関の手数が簡略化できる」など、バラ色の夢を振りまいてきた▼普段、医療機関を利用する筆者の実感。近所のかかりつけの医院では、数年分のカルテを見ながらの受診治療が出来ていない。▼大病院ではこうはいかない。お薬手帳や自前の病歴(A4)のメモさえ目を通してもらえず、検査データのモニターを見ながらの診察▼効率化どころではない。現場は医師・看護師はじめスタッフが多忙すぎて、マイナ保険証のデータ検索するゆとりがないのが現状。しっかりと検証すべきと思う。

松戸宿 耳袋人

広報部会

石井榮子 奥野和子
小関昭子 中山廣子
堀尾真誠 村上有一